

2019年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	金融システム特論 B		担当教員	矢島 格		
	英語授業科目名	Financial Economics B		単 位	2	学期	後期
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	経済学の基礎的知識を有していること、および前期の金融システム特論 A を履修済みであること。						
テーマ・副題	金融制度および各経済主体の金融行動について						
授業の教育目的・目標	実際の金融システムの概要を理解し、望ましい金融システムのあり方を探る。 後期の特論 B では、金融システムの問題点を踏まえ、金融システムの主要な主体である金融機関の今後のあり方について考察することに力点を置く。						
授業の理解度の到達目標	金融システムが抱える問題や課題を自分なりに把握できるようになることを目標とする。						
授業キーワード	金融システム、金融制度、金融規制、金融機関、金融取引、金融市場、金融リスク						
授業の内容	金融システムの概要について、できる限り具体的な事例を取り上げながら、議論していく。						
授業の方法	テキストの輪読。受講する学生が順番に発表する方法をとる。						
授業展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の金融機関の現状</li> <li>2. 金融機関の事業と収益性</li> <li>3. 非金利業務と新しいオペレーション</li> <li>4. 地域金融機関と中小企業取引</li> <li>5. 決済システムと新しいビジネス</li> <li>6. 経営管理の新しい潮流</li> <li>7. 規制の新たなあり方</li> <li>8. 組織・人事の課題</li> <li>9. 企業統治</li> <li>10. 不祥事と規律</li> <li>11. 金融機関の合併・統合</li> <li>12. 証券・信託・アセットマネジメント</li> <li>13. ノンバンクの現状と課題</li> <li>14. 生命保険会社・損害保険会社の現状と課題</li> <li>15. 公的金融はどうあるべきか</li> </ol>						
成績評価方法	授業への取組み姿勢 (40%)、発表内容のレベル (30%)、レポート内容のレベル (30%) から評価する。						
成績評価基準	総合点が 80 点以上を A、79～70 点を B、69～60 点を C、それ以下を D とする。 なお、欠席が 1/3 以上の場合は、E とする。						
テキスト	川本裕子 著『金融機関マネジメント』東洋経済新報社 (2015 年) ほか						
参考図書	宮内惇至著『金融危機とバーゼル規制の経済学』勁草書房 (2015 年) 前田裕之著『ドキュメント銀行 金融再編の 20 年史』ディスカヴァー・トゥエンティワン (2016) みずほ総合研究所編『国際金融規制と銀行経営』中央経済社 (2017 年) その他は、適宜紹介する。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	テキストの復習・予習を通じて、各自疑問点などを明確にして、毎回出席すること。 また、発表者は、発表担当部分を十分に理解したうえで、レジメを作成して所要部数用意しておくこと。						
学生へのメッセージ	金融ファイナンスに関する事柄・事象に関心を持ち、積極的に議論に参加してもらいたい。						
オフィスアワー	木曜 3 時限、金曜 2 時限 (メールによる事前アポイントが望ましい。)						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線 : 5513)		メールアドレス	i-yajima@ic.jobu.ac.jp		
人数制限	特に定めない。						